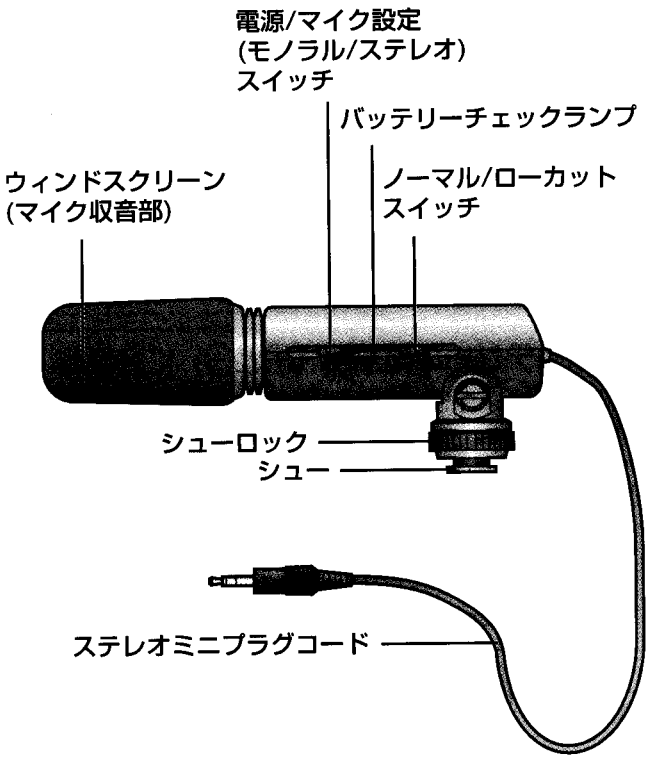
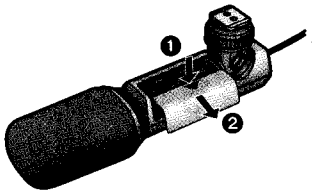
各部の名前



使いかた

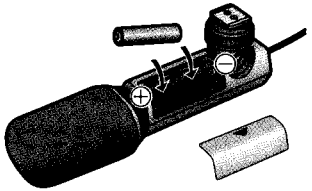
マイクロホンに電池を入れる

1



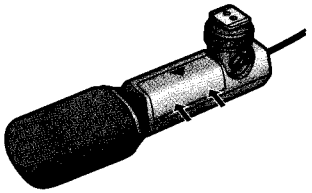
マイクロホンの電池カバーを外す
(カバーの「▽」を❶の方向に押し下げながら❷の方向に力を加えます)

2



単4形乾電池を図のように先に⊖側から入れる
(⊕・⊖をよく確かめてから入れてください)

3



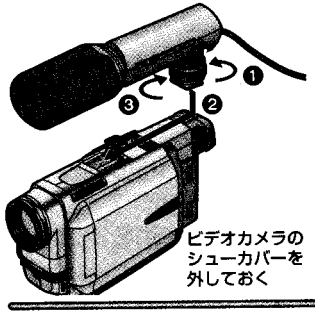
電池カバーを戻す

●1ヵ月以上使わないときは、電池を取り出しておいてください。

使いかた（つづき）

マイクロホンをビデオカメラに取り付ける

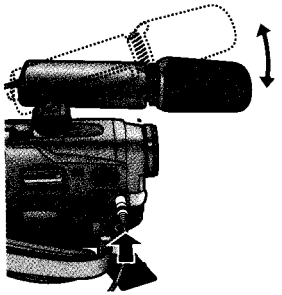
1



マイクロホンをビデオカメラのシューに付ける

❶シューロックをゆるめる
❷取り付ける
❸しっかり固定する

2

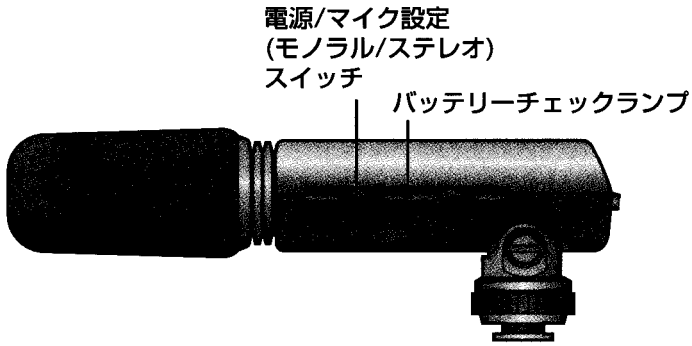


ステレオミニプラグコードをマイク端子に接続する

マイクロホンは左図の範囲で角度を調整できます。

- マイクロホンの取り付け、取り外しはシューロック部を持って行ってください。
- 必ずビデオカメラの電源を「切」にしてからマイクの接続を行ってください。
- シューのないビデオカメラをお使いの場合は、取り付け時に別売のシューアダプターが必要になります。取り付けかたは、シューアダプターの説明書をお読みください。

電源/マイク設定スイッチを切り換える



電源/マイク設定スイッチ

「切」 ……マイクロホンの電源を「切」にします。
「モノラル」 ‥‥ビデオカメラの正面方向の音をモノラルで収音します。
「ステレオ」 ‥‥広い範囲の音をステレオで収音します。

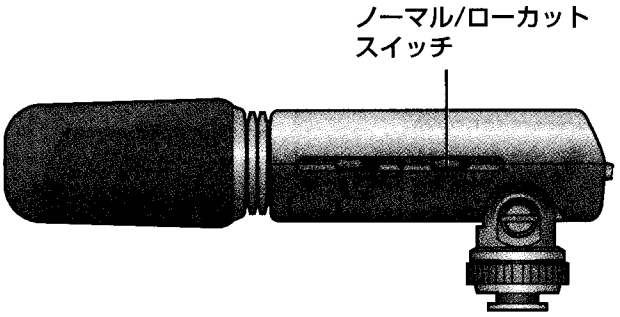
- 撮影中でもマイク設定スイッチの切り換えはできますが、切り換えたときにノイズが記録されることがあります。切り換えるときは撮影の一時停止状態で行ってください。

バッテリーチェックランプについて

- 「切」から「モノラル」または「ステレオ」にスイッチを切り換えたとき、電池が十分あると、バッテリーチェックランプが一瞬点灯します。バッテリーチェックランプが点灯しなくなったら、新しい電池と交換してください。

使いかた（つづき）

ノーマル／ローカットスイッチを切り換える



ノーマル／ローカットスイッチ

風雑音の低減のため本機はウィンドスクリーン構造になっていますが、風が強くウィンドスクリーンだけで防ぎきれないときは、ノーマル／ローカットスイッチを「ローカット」に切り換えると、風雑音を効果的に低減することができます。

「ノーマル」 ‥‥通常はこの位置でお使いください。

「ローカット」 ‥風雑音や低域ノイズが気になるときにお使いください。

●撮影中でもノーマル/ローカットスイッチの切り換えはできますが、切り換えたときにノイズが記録されることがあります。切り換えるときは撮影の一時停止状態で行ってください。

使用上のお願い

●マイクロホンに強い衝撃を与えないでください。

●マイクロホンを降雨、降雪時や、ほこりの多いところで使わないでください。

●マイクロホンについたよごれは、乾いたやわらかい布でふいてください。よごれがひどいときは、台所用洗剤を水でうすめ、布をひたし、よく絞ってよごれをふき、かわいた布で仕上げてください。

●ベンジンやシンナーなどの溶剤を使うと外装ケースが変質したり、印刷がはげるおそれがあります。

●化学ぞうきんをご使用の場合は、その注意書に従ってください。

●殺虫剤や揮発性のものをマイクロホンにかけないでください。

●高温（約60℃以上）、高湿度（約80%以上）の場所に保管しないでください。特に真夏の車内や暖房機器の近くに置かないでください。

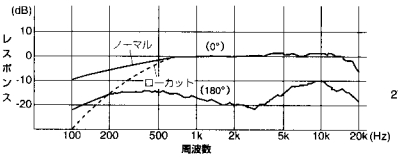
●プラグの端子部がよごれていると接触不良の原因になりますので、きれいにふいてから接続してください。

●ビデオカメラの電源を「入」の状態でステレオミニプラグの抜き差しをしないでください。

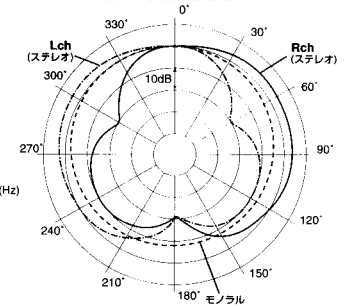
●電波塔や高圧線の近くでは、なるべく使用しないでください。電波や高電圧の影響で、音声が悪くなることがあります。

周波数特性図と指向性パターン図

周波数特性



指向性パターン



仕様

電源	1.5V（単4形乾電池1本）
消費電流	1mA以下

形式	エレクトレットコンデンサ型マイクロホン
指向特性	単一指向性（ステレオ）/無指向性（モノラル）
周波数特性	100Hz～20,000Hz
感度	−47dB（0dB＝1V/Pa、1kHz）
出力インピーダンス	600Ω
S／N	67dB以上
コード	φ3.5ステレオミニプラグコード（長さ300㎜）
スイッチ	電源/マイク設定(モノラル/ステレオ)スイッチ ノーマル/ローカットスイッチ
外形寸法	長さ158×高さ59×幅46㎜ （ケーブル、ブッシング含まず）
質量	約80g（電池含む）
推奨使用温度	0℃～40℃
許容相対湿度	35%～80%
連続動作時間	約600時間（20℃時）

〈無料修理規定〉

1.取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(イ)無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本書をご持参ご提示いただきお申しつけください。
(ロ)お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くのご相談窓口へご連絡ください。
2.ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にご相談ください。
3.ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くのご相談窓口へご連絡ください。
4.保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(イ)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(ロ)お買い上げ後の輸送、落下などによる故障及び損傷
(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧などによる故障及び損傷
(ニ)車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
(ホ)一般家庭以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
(ヘ)本書のご提示がない場合
(ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5.本書は日本国内においてのみ有効です。
6.本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7.お近くのご相談窓口についてはP13～17をご参照ください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くのご相談窓口にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」(P12)をご覧ください。
※This warranty is valid only in Japan.